

レポート

県外に届け！熊本の新たな魅力

九州

九州新幹線全線開業イベント目白押し！ 関西エリアでのPRを強化

熊本〜新大阪間が最速2時間59分で結ばれ、関西地区からの大幅な集客増を見込んでいる熊本県。熊本出身のタレント・スザンヌさんを熊本県宣伝部長に起用し、関西エリアでの熊本PRを強化している。

一方、県内の観光施設などでは、県外客を迎え入れる態勢を着々と整えている。市内観光目玉の一つとして期待される「桜の馬場城彩苑」のオープンや、3月〜5月のロングスパンで開催される「くまもと城下まつり」など、さまざまな「仕掛け」で観光客の滞留時間拡大を図る。



「くまもとサプライズサンス観光キャンペーン」の観光宣伝で、観光パンフレットを配布して熊本をPRする熊本県宣伝部長のスザンヌさんと、県旅連女将の会のメンバーなど(10月1日、JR大阪駅中央コンコースで)



◀施設の完成予想図。天守閣と武家屋敷風の建物が織り成す風景は、四季折々さまざまな表情をのぞかせる

▼急ピッチで建設が進む「桜の馬場城彩苑」。観光交流施設では、加藤清正公入国から西南戦争までの熊本の歴史が、CGをフルに使った映像で楽しめ、来館者が熊本城をバーチャル体験できる工夫がなされている。飲食物販施設は、夜間照明に趣向を凝らし幻想的な空間を演出する



「桜の馬場城彩苑」3月5日オープン

2011年3月5日のオープンに向け、着々と準備が進む「桜の馬場城彩苑」。九州新幹線全線開業後の市内観光の目玉として、年間120万人の集客を目指す。建物は城にマッチするよう、武家屋敷風にデザイン。施設は主に、観光交流施設「沸々座(わくわくざ)」と飲食物販施設「桜の小路」の2核で構成している。「桜の小路」では、飲食7店、物販16店により「熊本の質の高い食文化とものづくり文化」を創出し、ここでしか味わえないものを提供していくという。

滞留時間拡大による宿泊客の増大が事業コンセプト。飲食施設の営業時間を午後10時までに変更するほか、施設の夜間照明には趣向を凝らす方向で「夜の観光スポット」としても期待が膨らむ。

3月上旬から「くまもと城下まつり」

また、熊本市の象徴である熊本城を生かした観光振興「わくわく都市くまもと」の実現、中心市街地のにぎわい創りを図るため、九州

新幹線全線開業記念「くまもと城下まつり2011」が予定されている。主に「城下町春の祭典(仮称)」、「坪井川大園遊会、舟運」、「くまもと花絵巻2011」の3つを軸に展開。「城下町春の祭典(仮称)」は、08年から毎年開催してきた「くまもと城下まつり」を刷新。開催場所を中心市街地や市電沿線商店街に移し4月29日〜30日の日程で行う予定。開催期間中は市電を無料運行する。「坪井川大園遊会」は、「熊本城400年」と熊本ルネッサンス「県民運動本部」が2日間の開催から3月11日〜5月8日に拡大。熊本城長堀前などを流れる坪井川で屋形船や和船を土日祝日に運行する。新たな試みとなる「くまもと花絵巻」は、まちづくり団体や商店街関係者らでつくる実行委が初めて企画。3月12〜27日に中心アーケード街で、農産物などの販売「街中なかまルシェ」や熊本のファッションセンスにスポットをあてた「くまもとファッションストーリー」などを開く。



▲2010年3月27日、28日に開かれた「観桜坪井川園遊会」。園遊会人気のイベント「坪井川浪漫舟めぐり」は、長堀前〜洗馬橋間と明八橋〜祇橋間の2コースを運行。長堀前コースは7人乗りの和船4隻、明八橋コースは屋形船1席を運行、2日間で約800人が坪井川遊覧を楽しんだ。11年は3月11日〜5月8日の日程を予定している。

KKRホテル熊本は
2011年、開業60周年を迎えます。
これまでのご愛顧に深く感謝し、
これからもご満足いただけるよう
心を込めたおもてなしで、
皆さまのお越しをお待ち申し上げます。

お城のそばで60年

にぎり鮎 1月3日〜7日
オーダーバイキング

ご昼食 2800円
ご夕食 3200円

先付/冬野菜具だくさん豚汁/
茶碗蒸し/手作りデザート付

にぎり鮎12種、巻き寿司7種の中
から、お好きなものをお好きな
だけお召し上がりください。
(制限時間120分)

KKR HOTEL KUMAMOTO
〒860-0001 熊本市千葉城町3-31
TEL096-355-0121(代表) FAX096-355-7955
http://www.kkr-hotel-kumamoto.com/